



食寝遊備

[くうねるあそび]
kuu-neru-aso-bi

「食寝遊備（くうねるあそび）」
それは、キャンピングカーの特徴を表現した魔法の言葉。

キャンピングカーはその小さな空間に「食べること」の喜び、「寝ること」の快適さ、「遊ぶこと」の楽しみ、そして自然災害などを被ったときに、ちょっとした暮らしを維持するための「備え」を詰め込んだ乗り物です。

そこには、家族の「絆」を約束する温かい空間と、
長距離旅行やキャンプを自在に楽しめる生活機能が用意されています。

あなたは、グルメ派？ それとも、旅行派？ あるいは、スキーや、キャンプや、釣りを楽しむアウトドア派？
もしかしたら、災害時の緊急避難場所としてキャンピングカーを用意しておこうという堅実派？

大丈夫。そのようなニーズのすべてをキャンピングカーは満足させてくれます。

「食寝遊備」そのすべての要素をひとつにまとめた魔法の“小箱”。
キャンピングカーは、あなたの望む幸せをひとつにまとめた夢の小宇宙です。



他の乗用車と比べて、キャンピングカーの特徴がいちばん表れるのは、ベッドである。

もちろんキャンピングカーは、ベッド以外に、ガス、水道などのライフラインを備えているものがほとんどで、中には、トイレやシャワー設備をもつものもある。

しかし、普通の乗用車と比べて、いちばん大きな違いは「しっかり寝られるベッド」を持っていること。

乗用車の場合は、少し違う。

たとえ、リクライニング機構を備えていて、車内全体が平らになるようなクルマがあったにせよ、基本的には、それはシートアレンジのひとつにすぎない。とてもキャンピングカーのように、身体を凹凸のないスペースの上に思いっきり伸ばして、リラックスできるような“ベッド”にはならない。

人間の疲労回復には、快適な睡眠が欠かせないが、それを保証してくれるのがキャンピングカー。だから、長距離旅行も楽にこなせる「くるま旅」が可能になるわけだ。

効率よく二役をこなすフロアベッド

一口にキャンピングカーのベッドといっても、その種類や構造、大きさによってさまざまなスタイルがある。

いちばん分かりやすいのは、フロアベッド。「ダイネットベッド」ともいわれるように、通常は食事をするためのテーブルとシートを操作して、就寝時にそこをベッドスペースに変えるというもの。椅子やテーブルを操作するため、ベッドメイクに多少の時間とコツを要するが、スペース効率が良いので、キャブコン、バンコンを問わず、小型～中型キャンピングカーではよく採用されている。

一方、同じフロアベッドでも、輸入モーターホームのように、固定ベッド(常設ベッド)を持つものもある。これはベッドメイクの必要がないので、眠くなったらすぐに寝られる利点はあるが、ある程度の室内容積を持ったキャンピングカーでないと、室内を有効活用できない。

就寝人数を増やすのに最適なバンクベッド

バンクベッドは、キャブコンとい

